

パパ・ママ子育て知恵袋

第12回は「外面^{そとづら}のいい子」

「内弁慶^{うちべんけい}」という言葉が聞かなくなって久しいことに気づきました。

若いパパ・ママは「？」かも知れません。

「うちの子は内弁慶で困ります。」というように使います。

家^{うち}の中ではばかり強がっているくせに、外に出ると意気地がない子のことです。

「外面がいい」という言葉も聞かなくなりました。

身内には、いばっていても、いったん外に出ると物腰が低くて丁寧^{ていねい}だという意味です。

内弁慶も外面のよさも、私は長所だと思います。

「我が家で言って聞かせているのは、親に迷惑をかけるなということ。親の言うことを聞かないなら家を出ていけと言っています。」
これは、ちょっと違うかなと。

「他人様」「よそ様」「世間様」と他者に「様」をつけて、「他人様には迷惑をかけるんじゃないよ」というような使い方も聞かなくなりました。

内弁慶の子も、外面のいい子も「自分以外の他人」を意識しています。
昨今、他人のことばかり気にするな、空気なんか読まなくていいという人がいますが、そんな単純な生き方は誰にでもできるものではありません。

「自分以外の他人」を意識するから、人生は面倒くさい。でも「自分以外の他人」を意識するから、思いやりも親切心も生まれます。

朝東っ子は掃除が上手です。
上手な上に心がこもっています。
掃除の時間に校内を回ると、子供たちの活動に頭が下がります。
「お家でもお掃除しているの？」
「しません。しないで、いつもママに叱られています。」
「学校だとお掃除できてるじゃないですか。」
「だって、みんなが使う場所だから。」
4年生の子供との会話です。これでいいと思うのですが……。